



七里小だより

3月号

さいたま市立七里小学校
令和7年2月28日

『1年間ありがとうございました!』

さいたま市立七里小学校
校長 館 和 成

立春からおよそひと月が経ちました。気温が低い日が多く、強風が吹いた日もあり、寒さが厳しかった2月でした。そのような中でも、日差しは強くなり、日中の日差しに温かさを感じる日も多くなってきました。校庭の桜のつぼみは、まだまだ小さいですが、春休みを迎えるころに、また満開の桜を見られることが楽しみです。

2月は、子どもたちがこれまでの感謝の気持ちを伝える行事がありました。4日(火)に行った「ありがとう集会」では、交通指導員や防犯ボランティアの皆様、あそびの城(チャレンジスクール)の先生方、図書ボランティアの皆様、七里小の畑の先生に來校していただき、お世話になっている地域の皆様、保護者の皆様へ、子どもたちからの言葉や贈り物で感謝の気持ちをお伝えしました。17日(月)の「6年生を送る会」では、1年生から5年生の各学年より、言葉や歌、合奏、劇などで、七里小のリーダーとして活躍し、お世話になった6年生へ感謝を伝え、6年生からは、言葉や合奏でお礼の気持ちを伝えました。また、27日(木)の授業参観では、「はばたきの会」を行い、6年生の子どもたちが保護者の皆様へ感謝の気持ちを込めて、6年間の思い出や合奏、合唱を全員で発表しました。いつも子どもたちを見守り、導いてくださる皆様は、身近な存在で、いることが当たり前になってしまうことがあります。しかし、子どもたちが毎日を元気に楽しく過ごすことができるのは、保護者、地域の皆様の親切や思いやり、温かい言葉掛けのおかげです。私たちは、そのことを忘れず、周りの人たちのおかげで普段の何気ない生活があることに気付き、自分から感謝の気持ちを持ち、伝えることができる子どもたちを育てていきたいと思ひます。

さて、1月に行いました、さいたま市学習状況調査の生活習慣に関する調査の結果の中で、「元気がない友達に、声を掛けて、相談にのってあげていますか。」「道徳の時間の話し合いは楽しい、あるいは、ためになると思ひますか。」の質問で、肯定的な回答が9割を超え、市の平均を上回っていました。この1年間、どの学級でも、友達と仲よく過ごしている様子や授業で積極的に意見や思ひったことを発表している子どもたちの様子が見られました。これは、保護者の皆様が御家庭で温かく子どもたちを見守り、育ててくださっていることと共に、教員が、子どもたちの表現する力や相手を思ひやる気持ちを育てていくことに日々努めてきたことの成果であると思ひます。また、「この1年間に、ボランティア活動に参加したことがありますか。(住んでいる近所で行われる清掃やお祭りでのボランティアも含みます。)」の質問でも、肯定的な回答が、市の平均を上回っていました。保護者、そして地域の皆様と共に子どもたちを育てていくことの大切さを実感している私としては、とても嬉しい結果でした。保護者の皆様、地域の皆様に心から感謝申し上げます。

2月の授業参観、懇談会では、どの学年でも多くの保護者の皆様に御來校いただきました。ありがとうございました。3月も引き続き、保護者の皆様、地域の皆様の本校教育活動への御理解と御支援、御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

保護者の皆様におかれましては、引き続き、質問や心配なことがありましたら、学校まで御連絡ください。また、お子様の普段の様子を学校に見に來ていただくことも可能ですので、その際は職員室までお声掛けください。

皆様、令和6年度も1年間、たいへんお世話になりました。ありがとうございました。4月から始まります令和7年度もどうぞよろしくお願ひいたします。